

古河電工 PV用アルミケーブル 発電所向けに開発

古河電気工業(株)(東京都千代田区丸の内2-2-3、☎03-3286-3001)は、大規模太陽光発電所(メガソーラー)向けの高機能型低圧CVケーブル「らくらくアルミケーブル」を開発した。すでに山梨県のメガソーラーで採用実績があり、2024年度までに売上高20億円を計画している。

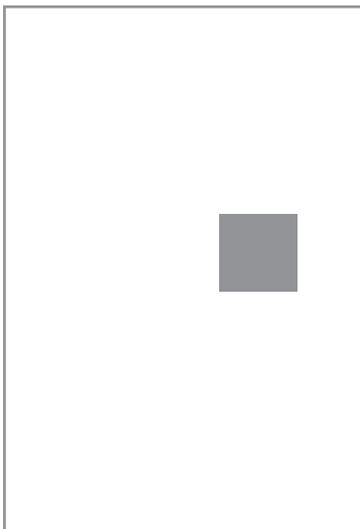
同ケーブルは、導体にアルミニウム、絶縁被覆に柔軟性架橋ポリエチレンを採用した高機能型低圧CVケーブルで、軽い、簡単、柔らかい、識別が容易、安定価格などが特徴。古河電気工業と古河電工産業電線が開発・製造し、古河電機工業と昭和電線ホールディングスが共同出資するSFC(株)(川崎市川崎区)が販売している。

メガソーラーなど産業用PV発電所では近年、銅線の転売を狙ったケーブルの盗難が増えている。ケーブルが盗難に遭えば、修理費がかさむだけでなく、売電収入にも大きく影響するため、早期に復旧する必要がある。

同ケーブルは導体にアルミニウムを採用し、ケーブルシースが青く、銅導体CVケーブルとの識別が容易なため、盗難防止効果が期待できる。ケーブルが軽くて柔らかく取り回しが容易で、施工性にも優れる。

山梨県内でケーブル盗難被害が発生したメガソーラーに同ケーブルが採用されたが、天候不順にもかかわらず、接続処理まで含めて工期どおりに完了し、予定どおり復電できた。

すでに他の産業用PV発電所への採用も決まっており、24年度までに売上高を20億円に拡大する目標を掲げている。



電子デバイス産業新聞